

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年							2025年											
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ～5日	10月 ～12日	10月 ～19日
カンピロバクター	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	5	7	9
病原性大腸菌	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	15	14	11
腸管出血性大腸菌	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	0	1	0
サルモネラ	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	6	2 (3)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	1	1 (2)	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第42週(10月13日～10月19日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5		1	2		2		
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3	1					1	1
四類	3	日本紅斑熱	4						1	3
		レジオネラ症	3					2		1
五類	56	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	5					2		3
		百日咳	49	7	11	1		12	6	12

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

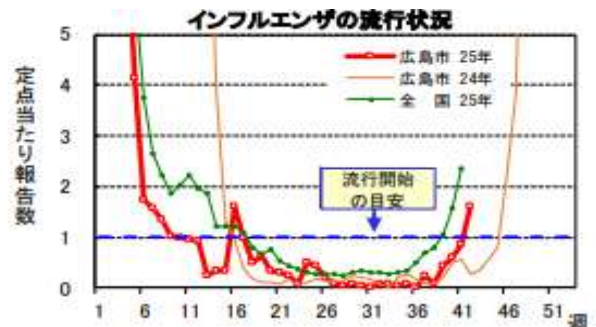
令和 7年42週(10月13日～10月19日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり1.60人と、流行開始の目安となる定点当たり1.00人を上回り、昨シーズンより4週間早く流行期に入りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が第42週に3件報告されました。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第42週 A型:13人、B型:0人



2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり6.33人の報告があり、増加しています。昨年は広島市・全国ともに過去最多の報告があり、11月中旬にピークとなりました。今年も例年より多い状況が続いており、注意が必要です。主な症状は、発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などで、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 RSウイルス感染症

定点当たり1.95人の報告があり、多い状況が続いています。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1858	53.09			小児科	突発性発しん	6	0.27	0.34	
	インフルエンザ	56	1.60	2.98			ヘルパンギーナ	2	0.09	0.82	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	71	2.03				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.08	
小児科	RSウイルス感染症	43	1.95	0.11		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	10	0.45	0.29			流行性角結膜炎	16	2.00	0.65	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.45	1.20		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	73	3.32	2.42			無菌性髄膜炎	1	0.17	-	
	水痘	3	0.14	0.07			マイコプラズマ肺炎	38	6.33	1.53	
	手足口病	11	0.50	1.44			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	19	0.86	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科 定点数	22
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	100	80歳代・2人
4	レジオネラ症	2	28	50歳代・2人
5	侵袭性肺炎球菌感染症	1	24	70歳代
5	梅毒	2	126	20歳代、40歳代
5	百日咳	12	973	10歳未満・3人、10歳代・2人、20歳代・3人、30歳代・3人、70歳代・1人